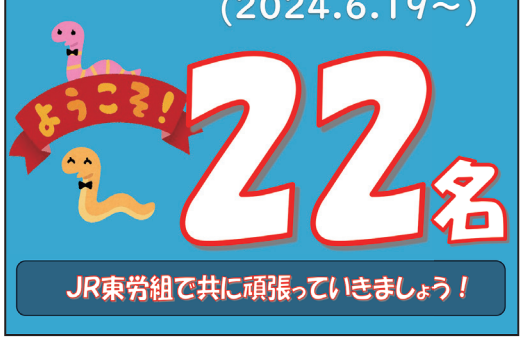
緑の風 JREU TIMES

JR東労組（東日本旅客鉄道労働組合）
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
東日本旅客鉄道株式会社 代々木総合事務所 5階
電話　03-5315-0941
発行人 加藤誠　編集人 湯ノ目亜矢子
毎月１回20日発行／一部20円
（組合員の購読料は、組合費に含む）

2025年1月20日
第７７１号

ＪＲ東労組ホームページは
←こちらからアクセス
http://www.jreu.or.jp/

第43回定期大会以降の拡大（2024.6.19～）



1月10日、目黒さつきビルにおいて、「2025年旗開き」と「新春の集い」を開催しました。「2025年旗開き」では、美世志会の梁次様より「戦後80年　激変する現代に労働者らしく人間らしく生きよう！」と題して講演をいただき、ＪＲ東労組はいかなる戦争にもテロにも反対であり、安全で安心して暮らせる平和な社会をめざして広範な連帯をつくり出し、ＪＲ東労組運動を職場から展開していくことを確認しました。また、すべてのハラスメント行為を許さず組合員と共にたたかいをつくり出すことを確認しました。

「新春の集い」には多くの方々にご参加いただき、鏡を開くことができました。

戦後80年を迎える今、抵抗とヒューマニズムの精神を根底に「平和・人権・民主主義」を掲げてたたかっていこう！

沖縄やヒロシマの平和研修に参加した青年層の組合員は、過去の歴史を現地で学び「戦争で犠牲になるのは労働者・子どもや女性などの弱者であること」「私たちの生活や労働組合の活動も平和が軸に成り立っている」ことが明確になったと語っています。沖縄平和研修では、講演をいただいた美世志会の梁次様が現地で迎え入れてくださっています。

今回の講演でも、梁次様の日常生活から見える沖縄の現実や、軍隊は住民を守らず、戦争は権力者の「ウソ・ゴマカシ」から始まること、差別や抑圧で虐げられてきた沖縄の歴史、戦争を絶対に許さない沖縄のオジイ・オバアの叫びや、若者たちの行動などお話していただきました。そして、ＳＮＳなどの現象面のみでの価値判断ではなく本物を追求していくこと、実践を積み重ね、人間性を磨き、労働者としてたくましくなっていくことの重要性を提起いただきました。

日本は1945年の敗戦以来、日本国憲法の下、不戦を貫いてきました。ＪＲ東労組はテロにも戦争にも反対です。「すべての戦争政策反対」「憲法9条改悪反対」を掲げ、職場、地域、議員のみなさんと共に、連帯と共闘で〝戦争のない平和な社会の実現〟に向けて広範なたたかいをつくり出していきます。一人ひとりが抵抗とヒューマニズムの精神を根底に据え、ＪＲ東労組運動の歴史に学び、継承し、「平和・人権・民主主義」を掲げてたたかっていきましょう！

命が最大の価値基軸！安全第一・職場第一の視点で立ち向かい、不当・不法行為を許さずたたかい、安心して働ける職場をつくり出していこう！

ＪＲ福知山線脱線事故から20年ですが、現在のＪＲ東日本の職場においても、労働時間管理の徹底などを含めた労務管理強化や、社員化という名の「モノ言わない社員づくり」、一部管理者による不当・不法行為による「命令と服従」による職場管理は、ＪＲ福知山線脱線事故の背景にあるＪＲ西日本の体質と変わらないと危機感を持たざるを得ない状況です。

職場では、慢性的な要員不足が続く中「融合と連携」による仕事のやりづらさや、病欠を余儀なくされて仕事を辞めようかと悩む組合員・社員も少なくありません。そのような中、一部管理者によるパワハラや不当労働行為などが発生しても、隠蔽、捏造、ゴマカシを容認する経営姿勢は、命と安全が脅かされていると言っても過言ではありません。ましてや、被害者が加害者にされるなど、不当・不法行為は断じて許されることではありません。

雇用と利益を守るたたかいとして、異常な労務管理や責任追及の経営体質を突破するたたかいをさらに強化する年にしていかなければなりません。「安全・健康・ゆとり」が脅かされていても、疑問を投げかける程度で、モノを言いきれなくなってきていることに対して自覚を持ち、労働の論理を持って立ち向かっていきましょう。

そして、「モノ言わない社員づくり」は賃金にも反映されていきます。25春闘もすでに政労使会議が開催され、ベースアップは社会的責務とされていますが、その内実は労働者のためではなく、経済活動の活性化のためです。世の中の流れに騙されることなく、賃金はたたかい取るものということを前提に、連帯・共闘を高めていかなければなりません。2025ＪＲ総連春闘スローガンのもと、「統一要求・統一闘争」で仲間と共にたたかっていきましょう！

「新生ＪＲ東労組運動宣言」を掲げて5年目。1万名組織をめざし、たたかいを強化していこう！

6月の大会以降22名の組織拡大を実現しています。普段の世話役活動をベースに、自らの言葉でＪＲ東労組を語り、関わりをつくってきた成果です。今一度、「新生ＪＲ東労組運動宣言」を掲げた意義を捉え返し、世代交代が進む中、たたかいをつくり出していかなければなりません。

世界情勢も不安定で、日本国内も決して安定しているとは言えない状況です。時代認識を深め、実践的に連帯・共闘をつくり出していかなければなりません。

労働者としての意識を高め、抵抗とヒューマニズムの精神を根底に据え、1万名組織をめざして組織強化・拡大をつくり出し、たたかいを強化していきましょう！

赤エンピツ

先日、妻とポイントが付与されるスーパーとポイント制度がない安値のスーパー、どっちが安く済むのか？と言う話になった。結果としてポイント制度がない安値のスーパーで買い物をすることにしたが、近年の物価高が止まらない▼昨年2024年の飲食料品値上げは累計で1万2520品目だったという。2025年も2000品目の加工食品をはじめ缶ビールやウィスキー、ワイン等も値上がりし、値上げラッシュは止まらない。最近では「プライベートブランド」の製品をよく耳にするようになり、少しでも安価な商品を購入する方にシフトしている人も多いのではないだろうか▼物価高騰が続く中、私たちの賃金が追い付いていないために、無意識のうちに負担を減らすべく安価な物を購入している。どこかで「まだ生活出来ているからマシ」と思っている人もいるかもしれないが、すでに私たちの生活は我慢を強いられ続けている▼よって、25春闘で私たちの生活を豊かにしていくために賃上げを堂々と要求し満額を勝ちとろう。我慢を強いられている怒りを組織力へと高め、25春闘勝利へ向け運動を推し進めていこう！（K・O）